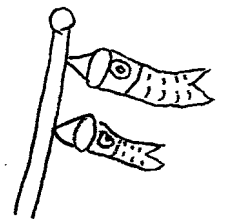




# たんぽぽ組だより5月号

平成30年5月18日 ことり保育園 担当:石田



新緑の美しい季節になりました。新しい環境に戸惑っていた子も少しずつ生活リズムが出来、お気に入りの遊びを見つけたりしながら過ごしています。

先日、の戸外遊びのことです。子ども達一人ひとりが好きな遊具で遊んでいる中、2、3人が輪になって地面を見ていました。何かあったのかと近づいてみるとアリの巣が動いているのを観察していました。様子を見守っていると「あ、荷物持ってるよ。力持ちだね。」「並んで歩いている。すごい。」と思いを次々にこぼにしていました。保育者も「皆と一緒に整列しているのかもね。」と話し、子ども達とやりとりを楽しみました。

そのやりとりに気づいた子が輪に入らんと近寄ってくると、先程まで会話を楽しんでいた子が「だめ」と言いました。皆で仲良く見られるように仲立ちしようとする、今度は「アリさん踏んじやだめ」と...。"そういうことだ、たか"と保育者も理解することが出来ました。

「踏んだらアリさんが怪我しちゃあやね」と安全な場所まで下がって一緒に見ました。

動植物の観察を通して命の大切さを実感出来るように働き掛けたり、新しい発見を友達同士で共感し、楽しんでいきたいです。

